

「寧樂づくし工芸展」

代をつなぐ

令和3年4月2日(金)～8日(木)



— 寧^な楽^らづくし工芸展 — 代をつなぐ

この度は柿傳ギャラリーにおいて、皆様に私共の作品を、ご紹介させて頂く機会を戴き有難うございます。

奈良の工芸は、墨、筆を始め木工、陶器、漆器、竹製品、一刀彫など多種に亘り多くの工芸家が活躍しております。多くの寺社や旦那衆と呼ばれた方々の下、1300年の長きにわたり此の地で育まれ代を繋いで参りました。又、村田珠光により侘茶の始まりとして歴史を重ねて参りました。

現在、一県で木、陶、漆器、釜、竹(茶釜)、など茶道具に使用される道具を生産している稀な場所であり、この文化を将来に引き継いでいく事が大変重要な課題になっております。

今回は、この地において一部ではありますが、現在活動している作家と、次代を担う後継者達の作品をご紹介します。

なお、本展の売上の一部を Daiwa Sakura Aid を通じ、吉野山の桜育成の一助とさせていただきます。この工芸展を開催するにあたり、柿傳ギャラリーならびにご後援いただいた大和ハウス工業株式会社に併せて感謝申し上げます。

Daiwa Sakura Aid プロデューサー・工芸展世話人 赤膚焼 武田高明

Daiwa Sakura Aid は吉野山の桜と景観の保全を始めに、桜と桜にまつわる文化、歴史、芸術を次代に繋ぐ大和ハウス工業株式会社の活動です。

東京国立博物館にて桜写真展(江森康之) 3月12日～4月11日開催中

特別講演会

本展の二日目に柿傳ギャラリーの上にある安与ホール(7階)にて、唐招提寺 副執事長 石田太一師による特別講演会を開催致します。

新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めますので(13頁をご覧ください)、どうぞ皆様からのお申込をお待ちしております。

- ・ 日 時 4月3日(土) 14:00～15:30
- ・ 講演者 唐招提寺 副執事長 石田太一師
- ・ 場 所 安与ホール (東京都新宿区新宿 3-37-11 安与ビル7階)
- ・ 会 費 無料
- ・ 申 込 ご希望の方は、柿傳ギャラリーまで電話、FAX、メールにてお申し込み頂ければと存じます。

[ご連絡先]

TEL 03-3352-5118 / FAX 03-5269-0335

e-mail gallery@kakiden.com

電話は11時～19時受付(ギャラリー休廊日を除きます)

会 期 令和3年4月2日(金)～8日(木)
会期中無休

開 廊 時 間 11:00～19:00
※ 最終日の8日(木)は17:00まで

出 品 作 家 川邊庄造 4月2日(金)～4日(日)
(在廊予定日) 川邊尚子 4月2日(金)～4日(日)
久保左文 4月2日(金)
久保左元 4月2日(金)
武田高明 4月2日(金)、3日(土)、5日(月)～8日(木)
武田 明 4月3日(土)、4日(日)
坂本曲齋
阪本善裕
阪本 修
※ 恐れながら、コロナ禍の影響で、変更になる可能性があります。

後 援 Daiwa Sakura Aid 大和ハウス工業株式会社

会 場

柿傳ギャラリー
KAKIDEN GALLERY

〒160-0022 東京都新宿区新宿 3-37-11 安与ビル地下2階
(JR新宿駅 中央東改札より徒歩1分)

TEL 03-3352-5118 / FAX 03-5269-0335

MAIL gallery@kakiden.com

http://www.kakiden.com/gallery



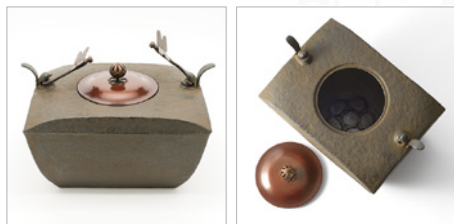
柿傳ギャラリー HP



公式 Instagram



コロナ禍の影響で、会期と営業時間の変更や、オンライン展示のみの可能性もございます。
お手間で恐縮ですが、弊廊ホームページや公式 SNS にて、最新情報をご確認頂ければ助かります。



川邊庄造

Kawabe Shozo

昭和 27 年 奈良県橿原市に生まれる
父 二代目庄造に茶の湯釜造りの技法を学ぶ
数江瓢鮎子・古賀健蔵の両師に指導を受ける
奈良西大寺「大茶盛」の大釜を奉納
奈良秋篠寺、東大寺に釜を奉納
中宮寺、薬師寺、橿原神宮に釜を奉納
平成 16 年 三代庄造を襲名
平成 25 年 伊勢神宮に釜を奉納
平成 27 年 日光東照宮に釜を奉納
東京・大阪・福岡等 全国各地にて作品展を催す

日の丸釜 蜻蛉釜銀添
W26.4×D17.7×H16.2cm



川邊尚子

Kawabe Shoko

昭和 56 年 奈良県橿原市に生まれる
父 三代目庄造に茶の湯釜造りの技法を学ぶ
平成 21 年 日本橋三越本店 川邊庄造茶の湯釜展に初出品
平成 23 年 新宿柿傳ギャラリーにて父娘展を催す
平成 24 年 JR 大阪三越伊勢丹・日本橋三越にて父娘展を催す
平成 25 年 伊勢神宮に釜を奉納
平成 27 年 日光東照宮に釜を奉納

木瓜釜
W24.9×D24.9×H15.5cm



久保左文

Kubo Sabun

昭和 19 年 奈良県生駒市高山町に生まれる
 代々続いた家業の茶筌を主に茶道具制作を先代・左文に師事すると共に竹茗堂左文に入社
 昭和 62 年 国指定の伝統工芸士に認定される
 平成 11 年 通商産業大臣表彰
 平成 20 年 パリ ルーヴル美術館出展
 平成 21 年 中小企業庁長官表彰（ものづくり元気企業 300 社）
 平成 26 年 パリ「ジャパンエキスポ 2014」出展・製作実演
 平成 27 年 ニューヨーク マンハッタン「NY NOW 2015」に出展・製作実演
 近畿経産局「ものづくり新撰 2014」選定
 秋の叙勲で「旭日小綬章」（産業振興功労）受章

表千家（煤竹真数穂）他、各流派用茶筌
 φ5.5×H11.7 cm



久保左元

Kubo Sayuki

昭和 49 年 奈良県生駒市高山町に生まれる
 竹茗堂左文入社（24 代目当主左文に師事）
 平成 27 年 国指定の伝統工芸士に認定される
 ニューヨーク国連大使公邸にて製作実演
 令和 元年 ロンドン「ジャパンハウス」に出展

左から 黒竹茶筌マドラー（色糸）、真数穂（色糸）
 φ5.0×H13.5 cm、φ5.9×H6.4 cm

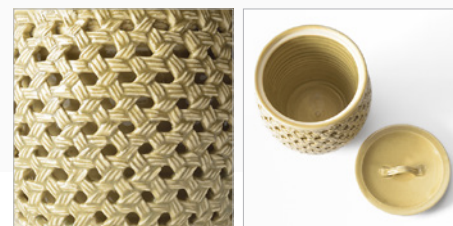


武田高明

Takeda Takaaki

昭和58年 築窯
昭和62年 独立し、師より窯分け
平成3年 ならまち（旧元興寺寺内町）にて築130年の民家を改装、寧屋工房設立
平成14年 東大寺大仏殿に天目茶碗奉納、西大寺叡尊上人800年忌大茶盛茶碗奉納
平成15年 春日大社にて春日若宮語出現1000年奉祝行事万燈祭燈火
吉野世界遺産協議会より総合プロデューサーに任命される
以降、近鉄本店、小田急本店、名鉄本店など各地で展示、個展などの活動を広げる
平成22年 奈良市平城遷都1300年祭プロデュース
平成25年 Daiwa Sakura Aid プロデューサーに任命
令和元年 ICOM京都世界博物館会議クロージング空間演出、プロデュース

花喰い鳥 透かし食籠
φ24.5×H14.5cm



武田 明

Takeda Mei

昭和61年 赤膚焼 寧屋工房 武田高明の長女として生まれる
平成21年 大阪芸術大学 工芸学科 卒業
卒業後、赤膚焼 寧屋工房にて、父、武田高明に師事
平成25年 横浜『白心庵』にて、父の展覧会に初出展
平成26年 奈良市『ふしんかづし吉村』にて初個展開催
平成29年 松菱百貨店にて二代陶展開催
平成31年 大阪市大手町ギャラリー ラ カンパネラにて個展

籠目二重透かし水指
φ14.4×H14.2cm

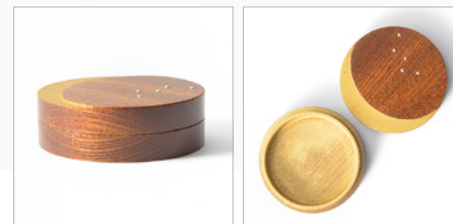


坂本曲齋

Sakamoto Kyokusai

昭和 23 年 奈良県奈良市に生まれる
 昭和 46 年 武蔵野美術大学彫刻科 卒業
 昭和 49 年 日本伝統工芸展 初入選 以降、数回入賞
 昭和 53 年 日本伝統工芸近畿展 初入選
 昭和 56 年 日本伝統工芸近畿展 松下賞
 昭和 57 年 蘇芳地金銀絵箱（正倉院宝物）模造制作
 昭和 62 年 秋野鹿詩絵手箱（出雲大社）素地制作
 平成 15 年 法隆寺 善珠僧正鈔本納箱修理
 平成 28 年 瑠璃燈籠（春日大社）制作
 平成 31 年 螺鈿紫檀五弦琵琶（正倉院宝物）素地模造制作
 他、薬師寺 東大寺 興福寺 聖光寺等 調度品制作修理

花喰鳥平香合
 φ6.3×H2.0cm



阪本善裕

Sakamoto Yoshihiro

昭和 51 年 奈良県奈良市に生まれる
 平成 18 年 上松技術専門学校 卒業
 平成 23 年 輪島漆芸技術研修所 修了
 父の工房を手伝う傍ら、独自の創作を行う
 平成 25 年 第 14 回 伝統工芸 木竹展 入選
 平成 28 年 第 63 回 日本伝統工芸展 入選
 平成 29 年 春日大社 春日厨子様地 制作
 平成 31 年 正倉院螺鈿紫檀五弦琵琶 模造制作 参加

樽拭漆香合
 φ7.0×H2.2cm

新型コロナウイルス感染予防対策

ご来廊される皆様に、弊廊でのひとときをより安心して楽しみいただけますよう、下記の新型コロナウイルス感染予防対策を実施しております。恐れ入りますが、お客様のご理解とご協力を頂けますよう、よろしくお願い申し上げます。

1 大切なお客様へのお願い

- ・弊廊入口とビル入口に、アルコール消毒液を設置しております。ご来廊の際は、恐縮ですが、手指の消毒をお願い申し上げます。
- ・お出かけの際は、マスクのご着用をお願い申し上げます。
- ・現在、発熱がある場合や体調がすぐれない方は、申し訳ありませんが、ご来廊を見合わせて頂きますよう、お願い申し上げます。
- ・過去2週間以内に、発熱や風邪で受診や服薬等をした方、および海外への訪問歴のある方は、ご来廊をお見合わせ頂きますよう、お願い申し上げます。
- ・店内の混雑緩和のため、出来る限り、少人数でのご来店をお願い申し上げます。
- ・コロナ禍までは、お客様にお出ししていた玉露などの呈茶のサービスを、申し訳ありませんが、当面の間、控えさせていただきます。

2 弊廊として取り組んでいる事

- ・弊廊内に高性能換気システム「ロスナイ」(三菱電機製)を令和3年1月6日より導入致しました。この新しく強力な換気設備により、15~20分に一回は、弊廊内の全ての空気が入れ替わる事になります。
- ・加えて、入ロドアは常時開放し、一層の換気に務めております。
- ・日常清掃をより強化致します。
- ・お客様やスタッフが頻繁に手を触れる、エレベーターのボタン、テーブルと椅子、入ロドアとトイレの取っ手、筆・ペンなどのアルコール除菌を営業中にも定期的に行います。
- ・弊廊内が多くのお客様で混雑し、三密状態になったと判断すれば、弊廊への入場制限をお願いする場合があります。
- ・弊廊スタッフはマスクを着用し、検温や体調管理を徹底して、接客に務めさせていただきます。
- ・令和3年1月20日、スタッフ全員のPCR検査(にしたんクリニック)を行い、全員、陰性でした。なお、今後も四季折々にPCR検査を実施してまいります。

3 特別講演会について

- ・恐れ入りますが、マスク着用でのご来場をお願い申し上げます。
- ・幅180cmのテーブルに一人掛けとし、ソーシャルディスタンスを確保致します。
- ・会場入口にアルコール消毒液を設置しますので、恐縮ですが、手指の消毒をお願い致します。
- ・講師の演台前にアクリル板を設置し、飛沫の拡散防止に努めます。
- ・会場内に柿傳ギャラリーと同じ高性能換気システム「ロスナイ」(三菱電機製)を令和2年11月より導入致しております。
- ・会場内のテーブルと椅子のアルコール消毒を徹底致します。
- ・当日、発熱がある場合や体調がすぐれない方は、申し訳ありませんが、ご来場を見合わせて頂きますよう、お願い申し上げます。
- ・過去2週間以内に、発熱や風邪で受診や服薬等をした方、および海外への訪問歴のある方は、ご来場をお見合わせ頂きますよう、お願い申し上げます。



阪本 修
Sakamoto Osamu

昭和54年 奈良県奈良市に生まれる
平成18年 石川県立輪島漆芸技術研修所 漆科 卒業
目白漆芸文化財研究所 入社
重要無形文化財保持者(蒔絵)室瀬和美に師事
平成24年 独立
平成25年 第30回 日本伝統漆芸展 朝日新聞社賞
平成28年 第60次式年造替 春日大社「瑠璃燈籠」制作

[左より]
搔合塗 白漆 酒器 φ7.2×H4.0cm
搔合塗 白漆 酒器 φ5.8×H5.8cm
搔合塗 白漆 小鉢 φ10.6×H5.6cm

— なら 寧楽づくし工芸展 — 代をつなぐ 価格表

作家名	作品名	本体価格/円 (税込価格/円)	作品サイズ (cm)
1 川邊庄造	日の丸釜 蜻蛉釜銀添 [桐箱付・後日]	450,000 (495,000)	W26.4×D17.7×H16.2
2 川邊尚子	木瓜釜 [桐箱付・後日]	230,000 (253,000)	W24.9×D24.9×H15.5
3 武田高明	花喰い鳥 透かし食籠 [桐箱付・後日]	230,000 (253,000)	φ 24.5×H14.5
4 武田 明	籠目二重透かし水指 [桐箱付・後日]	180,000 (198,000)	φ 14.4×H14.2
5 坂本曲齋	花喰鳥平香合 [桐箱付・後日]	250,000 (275,000)	φ 6.3×H2.0
6 阪本善裕	櫛拭漆香合 [桐箱付・後日]	32,000 (35,200)	φ 7.0×H2.2
7 阪本 修	搔合塗 白漆 酒器 搔合塗 白漆 酒器 搔合塗 白漆 小鉢 [全て、箱無し]	8,000 (8,800) 8,000 (8,800) 12,000 (13,200)	φ 7.2×H4.0 φ 5.8×H5.8 φ 10.6×H5.6

新宿で大人の道草を。

柿井ギャラー
KAKIDEN GALLERY





160 -
0022

東京都新宿区新宿 3-37-11

柿谷ギャラリー
KAKIYAGALLERY